

平成30年度 学校教育診断票 結果について

【はじめに】

本年度も「幼児児童生徒」「保護者」「教職員」に対して学校教育診断票を用い、学校教育についてアンケートを行いました。

回収率については、幼児児童生徒用71%（対象72名、回収51通）、保護者用68%（対象72家庭、回収49通）、教職員用36%（対象86名、回収31通）でした。教職員用については回収率が低く、引き続き回収率向上が課題です。

なお、本書において「幼〇〇（数字）」とあるものは幼児児童生徒用の第〇〇問を意味し、「保〇〇」は保護者用、「教〇〇」は教職員用を意味します。

【特に高い項目】（3.4p以上）

幼15「地震や火事などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている」（3.4p）

保21「学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。」（3.4p）

教 6「教職員は幼児・児童・生徒の意見をよく聞いている。」（3.4p）

教60「学校から保護者等にあて公文書を発行するにあたって、校長が決裁するシステムが整っている」（3.4p）

【大きく向上した項目】（前年比+0.3p以上）

幼 5「授業はわかりやすく、楽しい。」（+0.3p）

幼 9「先生はいろいろの問題を見逃さず考えてくれる。」（+0.3p）

幼11「将来の進路や生き方について考える機会がある。」（+0.3p）

幼12「学校は進路についての情報を知らせてくれる。」（+0.5p）

幼13「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」（+0.4p）

幼14「人権の大切さについて学ぶ機会がある。」（+0.4p）

幼16「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」（+0.3p）

幼17「体育大会や文化祭、宿泊行事は楽しみである。」（+0.4p）

幼18「他の学校や地域の人たちとの交流の機会がある。」（+0.3p）

保 4「学校は保護者のニーズを踏まえた教育活動に取り組んでいる。」（+0.3p）

保17「学校は子どもがほかの学校の子どもたちと交流する機会を設けている。」（+0.4p）

保18「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」（+0.3p）

教 7「学校は、教育活動全般について、児童・生徒や保護者の願いによく応えている。」（+0.3p）

教 9「指導内容については、幼児・児童・生徒の実態に合うように、教職員間で話し合いがもたれている。」（+0.3p）

教12「評価の在り方について話し合う機会がある。」（+0.3p）

- 教41「職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。」(+0.3p)
教42「日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。」(+0.4p)
教45「学校予算は、一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている。」(+0.4p)
教46「この学校では、幼児・児童・生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。」(+0.3p)

【特に低い項目】 (2.0p以下)

- 幼 4「学校のホームページをよく見る。」(1.3p)
教 1「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」(1.7p)
教15「この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。」(2.0p)
教19「生活指導において、関係諸機関と緊密な連携ができています。」(2.2p)
教27「幼児・児童・生徒や地域の実態に基づいた人権教育の重点課題を毎年設定している。」(2.0p)
教33「中期的(3か年)な目標を踏まえ課題を明確にした「学校経営計画」を策定し、PDCAサイクルによる学校経営を推進している。」(1.9p)
教48「施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。」(1.8p)

【大きく低下した項目】 (前年比-0.3p以下)

- 教 1「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」(-1.4p)
教 4「教育課程の編成に当たって、学習指導要領の趣旨が生かされている。」(-0.4p)
教15「この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。」(-0.6p)
教19「生活指導において、関係諸機関と緊密な連携ができています。」(-0.7p)
教20「児童・生徒が将来の進路や生き方について、考える機会を多く設けている。」(-0.3p)
教21「児童・生徒一人ひとりが、興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。」(-0.4p)
教22「教育活動において、幼児・児童・生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。」(-0.3p)
教23「道徳教育は、年間指導計画に基づき、継続して行っている。」(-0.8p)
教25「児童・生徒会の運営と活動が自主的にできるよう、担当者の支援が行われている。」(-0.6p)
教26「体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている。」(-0.4p)
教27「幼児・児童・生徒や地域の実態に基づいた人権教育の重点課題を毎年設定している。」(-0.7p)
教28「人権尊重の教育の推進にあたり、外部講師や諸施設の活用が進められている。」(-0.3p)
教31「環境・国際理解・福祉ボランティアなどについて、子どもの発達段階や実態に即して、教育活動に取り入れている。」(-0.4p)
教32「固定的な性別役割分担意識を是正し、男女共生意識に基づく社会を築く資質を養うこと

大阪府立大阪北視覚支援学校

ができるよう工夫している。」(-0.5p)

教33「中期的（3か年）な目標を踏まえ課題を明確にした「学校経営計画」を策定し、PDCAサイクルによる学校経営を推進している。」(-0.7p)

教35「学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。」(-0.3p)

教48「施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。」(-0.3p)

教51「コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。」(-0.4p)

教55「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。」(-0.3p)

教61「指導要録等の記入・点検が年度内に適正に行われている。」(-0.4p)

教63「教育活動に必要な情報について、児童・生徒・保護者や地域への周知に努めている。」(-0.3p)

教64「情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。」(-0.4p)

教67「近隣の学校などとの校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。」(-0.3p)

教71「個別の指導計画について、保護者に開示し、説明している。」(-0.4p)